

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 **チノ**
(東証1部 : 6850)

1.2022年3月期 第2四半期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 海外売上高（地域別）

2.株主還元

3.トピックス

4.通期業績予想

1.2022年3月期 第2四半期決算

1) 決算ハイライト

2022年3月期 第2四半期 連結業績

受注高



11,712百万円

前年同期比 13.0%増



売上高



9,711百万円

前年同期比 4.3%増



自動車・電子部品分野等で、生産活動の回復による設備投資の増加により増収

<利益面>

営業利益



387百万円

前年同期比 290.3%増



経常利益



522百万円

前年同期比 224.9%増



四半期純利益 (親会社株主に帰属)



249百万円

前年同期比 53.4%減



- ・ 営業利益・経常利益 : 売上高増加や原価率の低下等により黒字化
- ・ 四半期純利益 : 前年同期に明陽電機(株)の連結子会社化に伴う特別利益(負ののれん発生益557百万円)を計上したことによる反動減により減益

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2020 2Q累計	FY2021 2Q累計	前期増減	前期増減比
受注高	10,367	11,712	1,344	13.0%

	FY2020 2Q累計	FY2021 2Q累計	前期増減	前期増減比
売上高	9,314	9,711	396	4.3%
売上総利益 <利益率>	2,625 (28.2%)	3,057 (31.5%)	432 (3.3p)	16.5%
営業利益 <利益率>	99 (1.1%)	387 (4.0%)	288 (2.9p)	290.3%
経常利益 <利益率>	160 (1.7%)	522 (5.4%)	361 (3.7p)	224.9%
四半期純利益 (親会社株主に帰属) <利益率>	536 (5.8%)	249 (2.6%)	▲ 286 (▲3.2p)	▲53.4%

2) 業績サマリー (2)

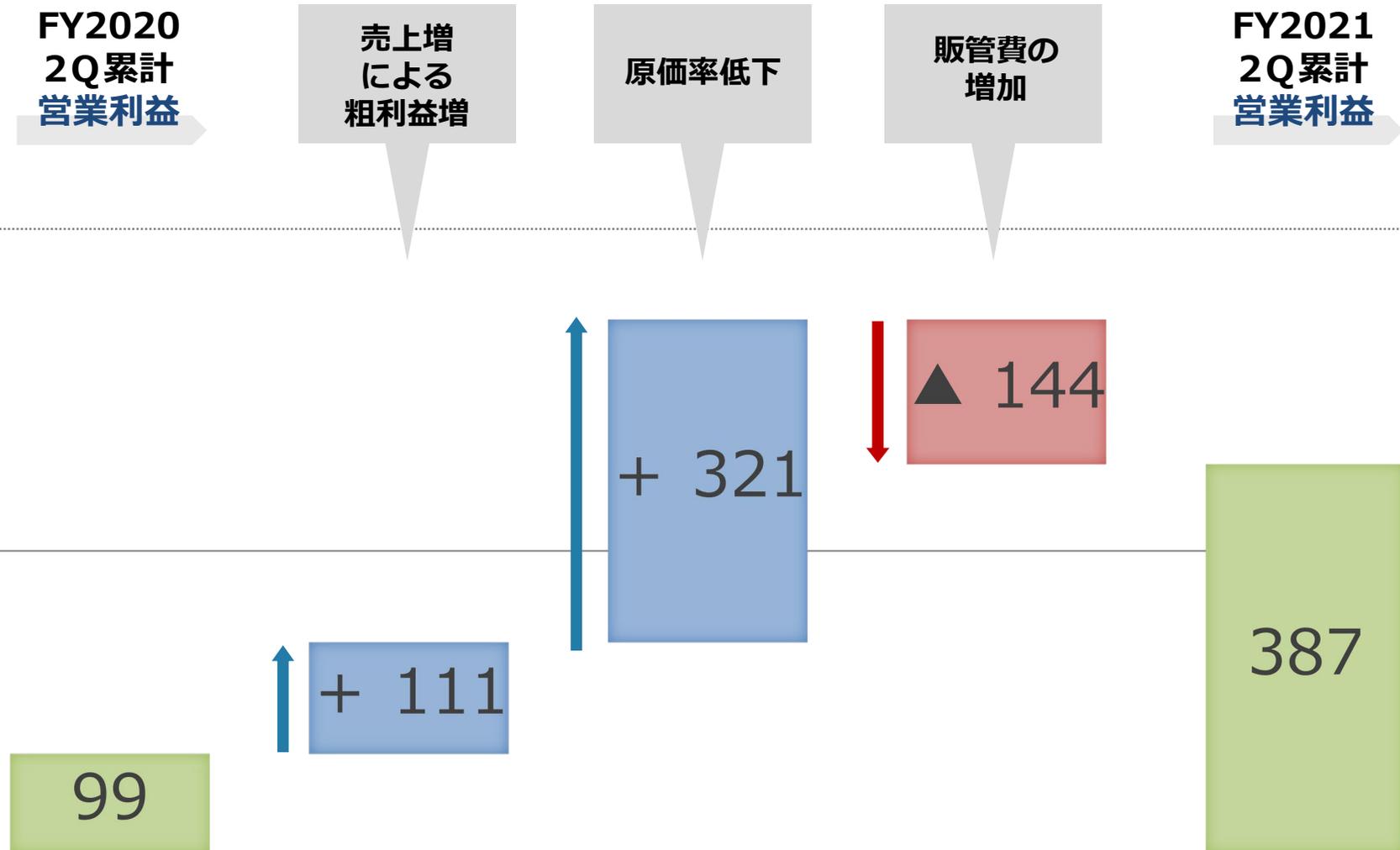
◇セグメント別業績

(百万円)

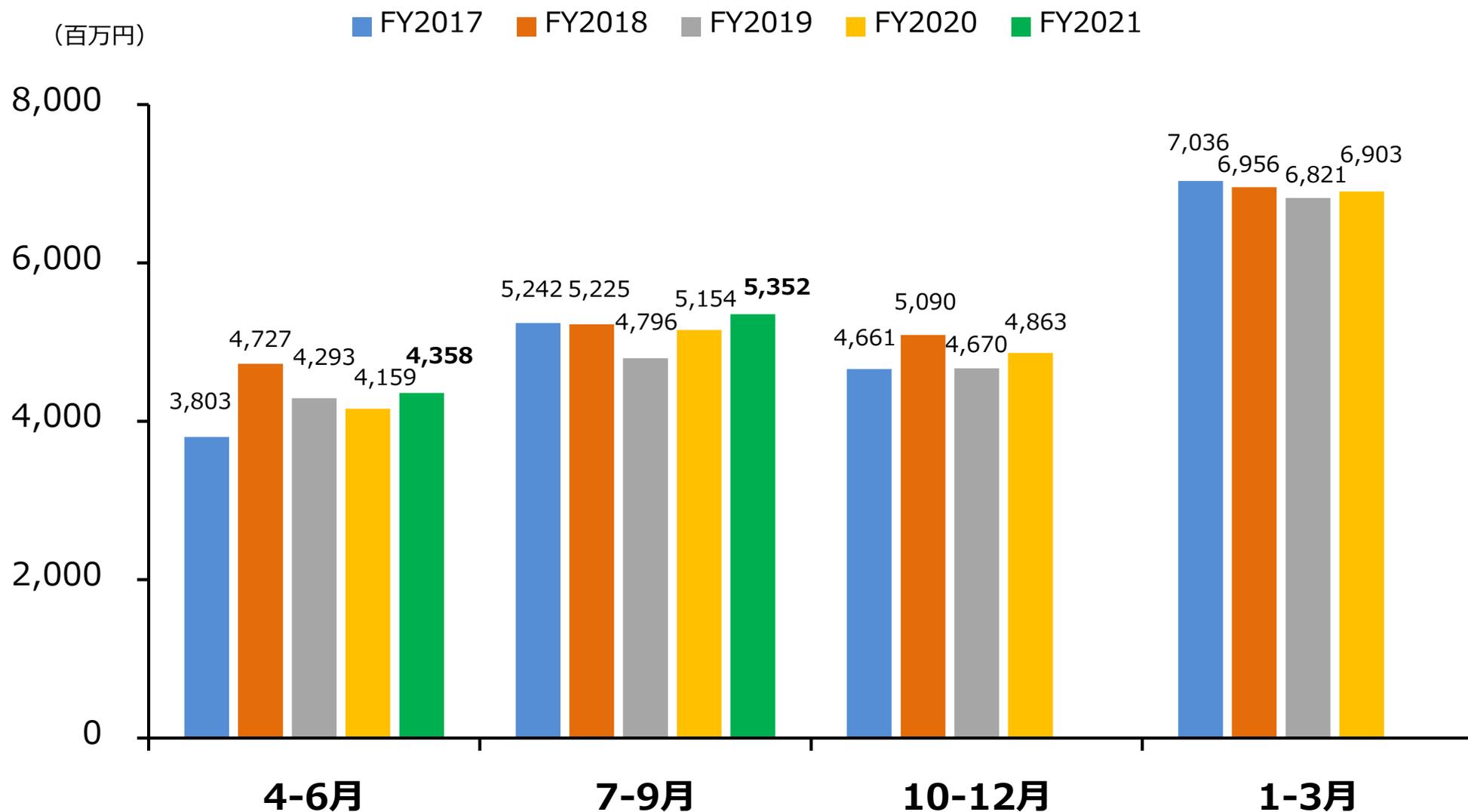
	受注高				売上高				営業利益			
	FY2020 2Q累計	FY2021 2Q累計	前期増減	前期増減比	FY2020 2Q累計	FY2021 2Q累計	前期増減	前期増減比	FY2020 2Q累計	FY2021 2Q累計	前期増減	前期増減比
計測制御機器	3,078	3,814	735	23.9%	3,216	3,725	509	15.8%	374	411	37	10.0%
計装システム	3,135	4,273	1,137	36.3%	2,631	2,499	▲ 132	▲5.0%	25	149	123	481.3%
センサ	3,823	3,312	▲ 511	▲13.4%	3,067	3,107	40	1.3%	393	572	179	45.6%
その他	330	312	▲ 18	▲5.5%	397	377	▲ 20	▲5.0%	93	62	▲ 31	▲33.7%
全社費用									▲ 787	▲ 808	▲ 20	—
合計	10,367	11,712	1,344	13.0%	9,314	9,711	396	4.3%	99	387	288	290.3%

3) 営業利益増減分析

(百万円)



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

損益状況

売上高

3,725百万円 前年同期比 15.8%増



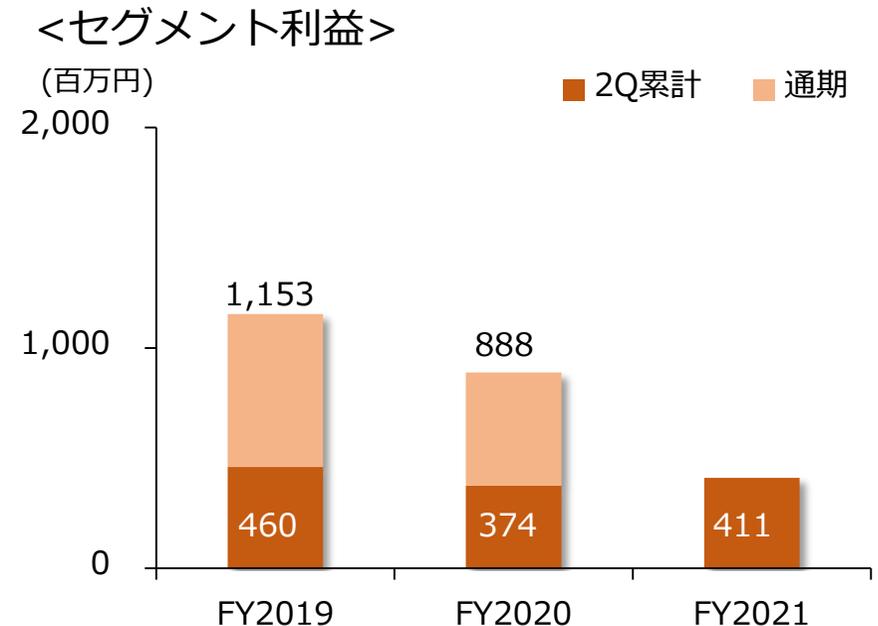
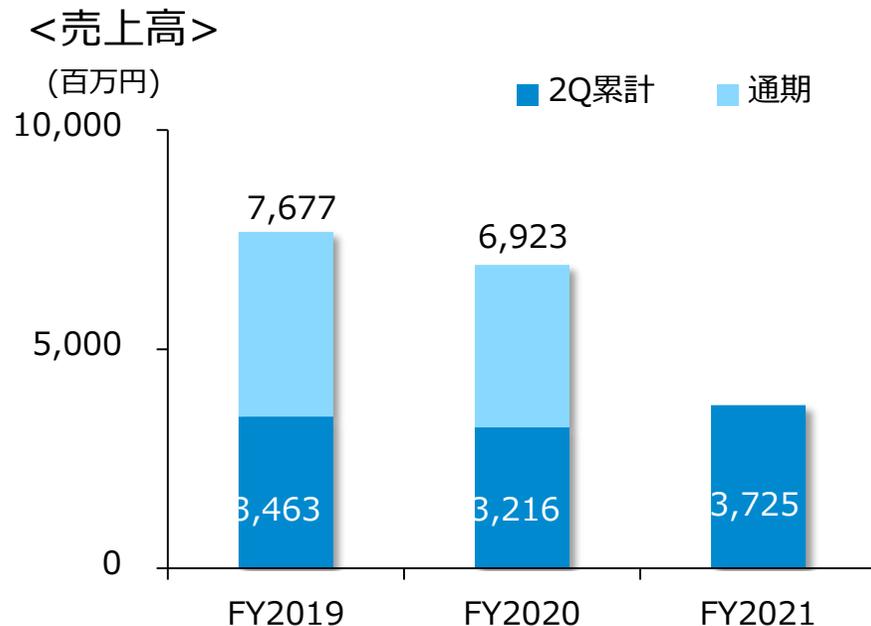
セグメント利益

411百万円 前年同期比 10.0%増



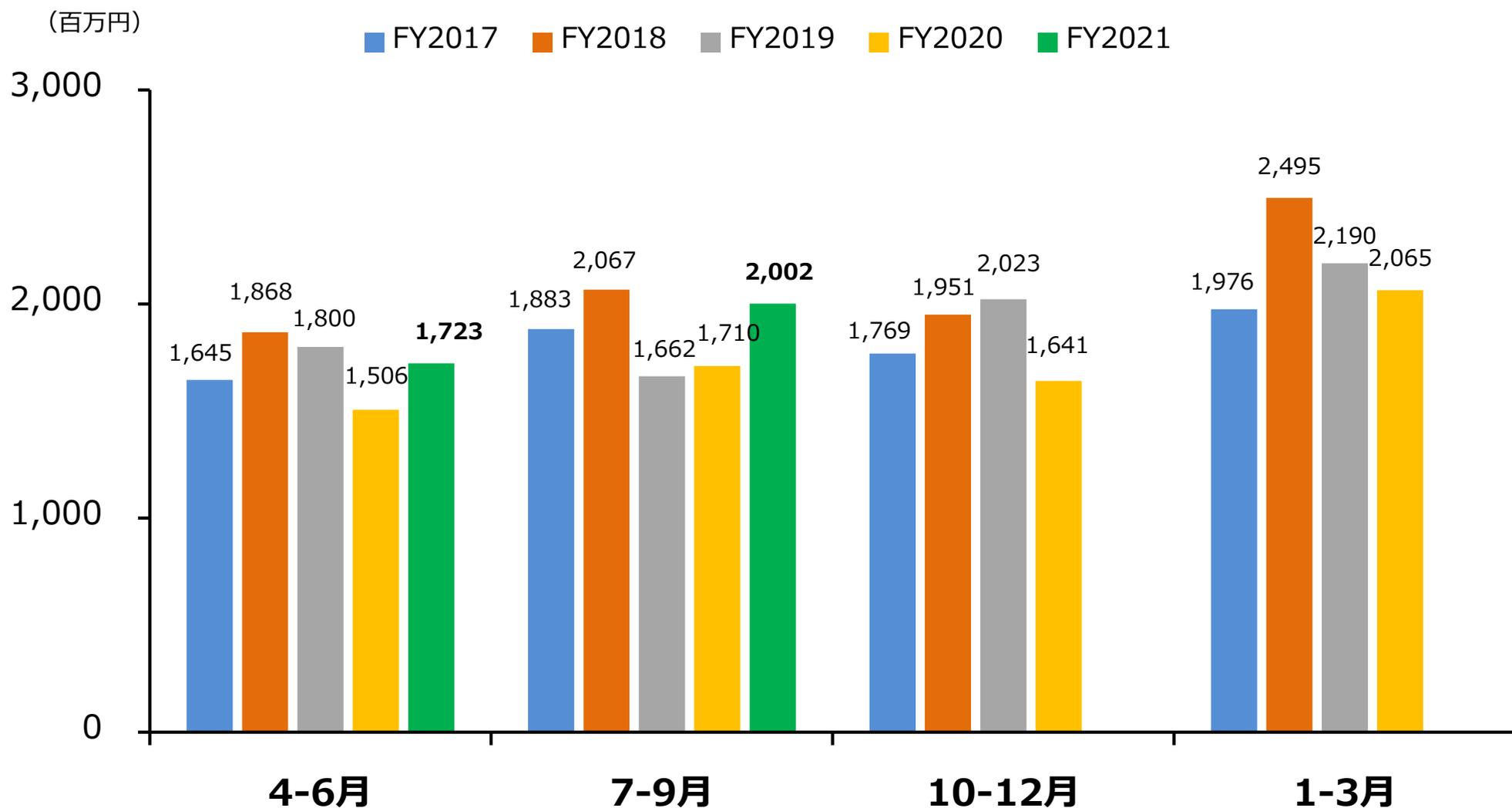
製品別状況

- 海外向け（特に中国を中心としたアジア地域）において記録計の需要が伸長
- 調節計とサイリスタレギュレータについても、大口顧客の需要回復



5) 売上高推移

① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

損益状況

売上高



2,499百万円

前年同期比

5.0%減



セグメント利益



149百万円

前年同期比

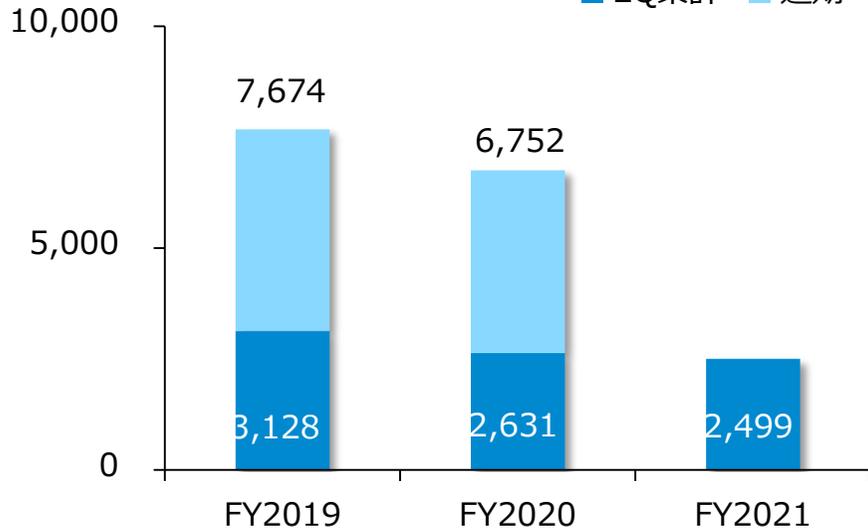
481.3%増



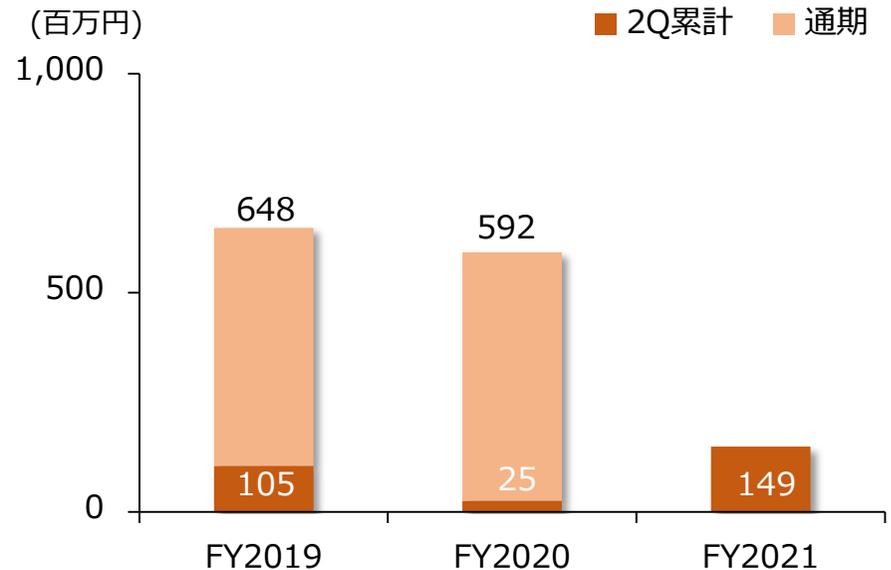
製品別状況

- 電子部品関連の製造装置向けの売上が順調に推移
- 脱炭素関連として、自動車関連向けの燃料電池評価試験装置や、水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価試験装置の需要が拡大

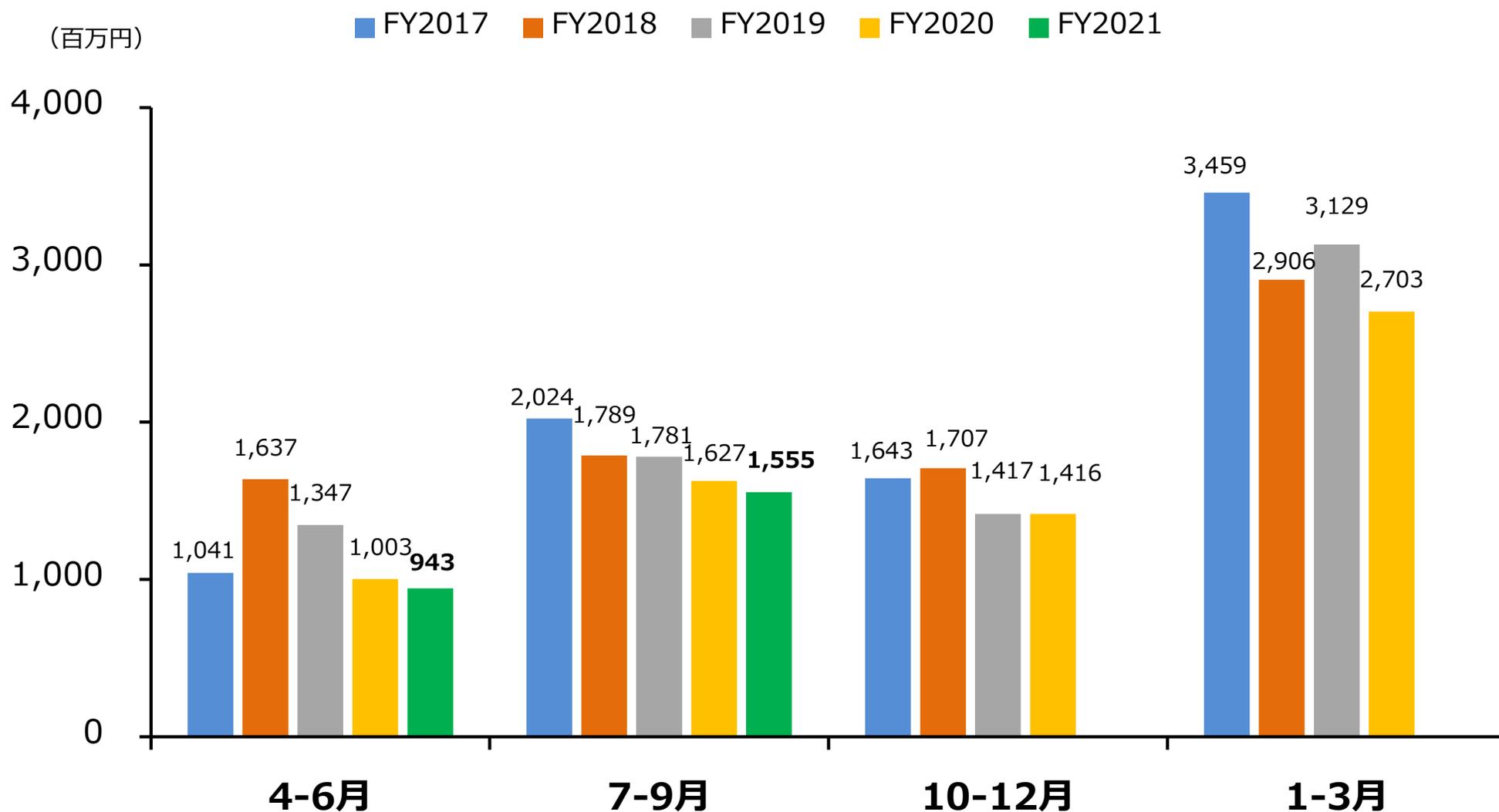
<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>
(百万円)



5) 売上高推移 ② 計装システム



5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

損益状況

売上高



3,107百万円 前年同期比 1.3%増



セグメント利益



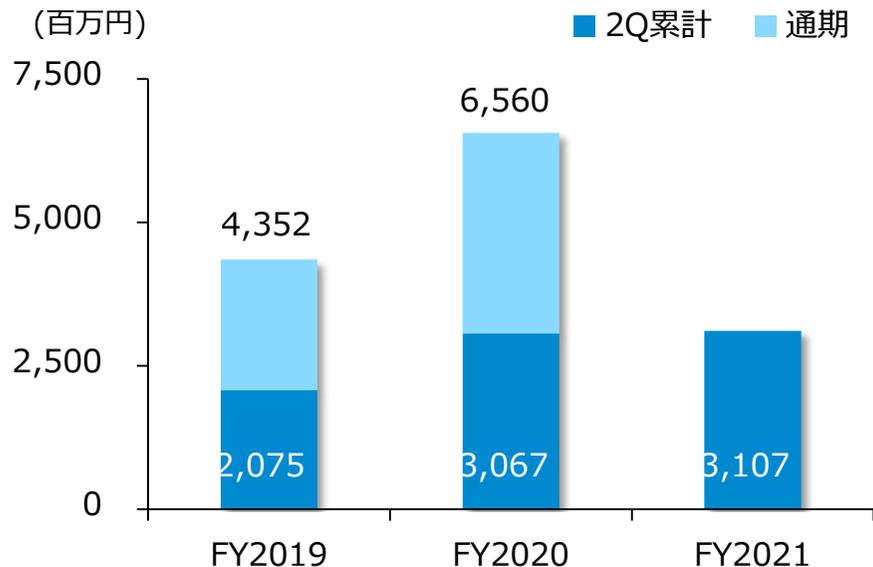
572百万円 前年同期比 45.6%増



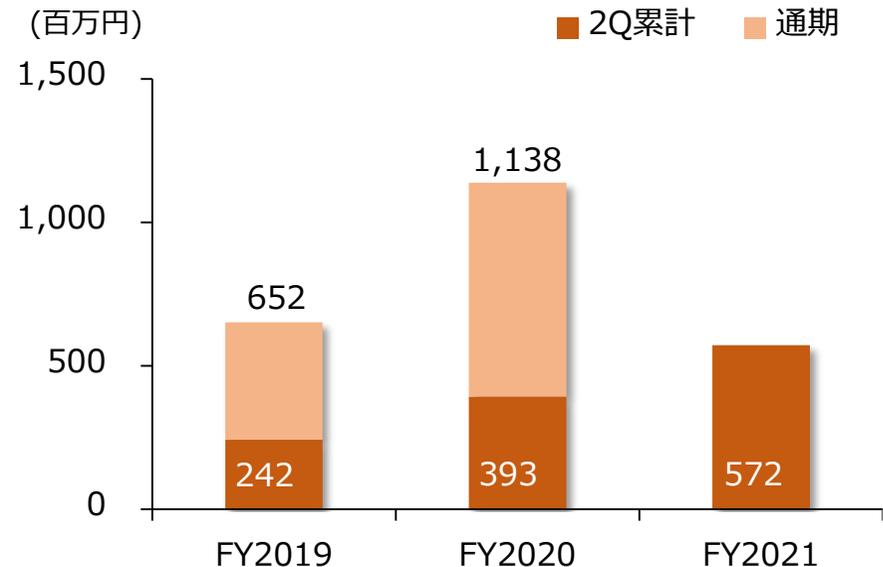
製品別状況

- 放射温度計：半導体・電子部品関連の製造装置向け、鉄鋼関連の設備投資が堅調
- 温度センサ：半導体・電子部品関連の製造装置向け、バイオマス等の安全監視需要が堅調

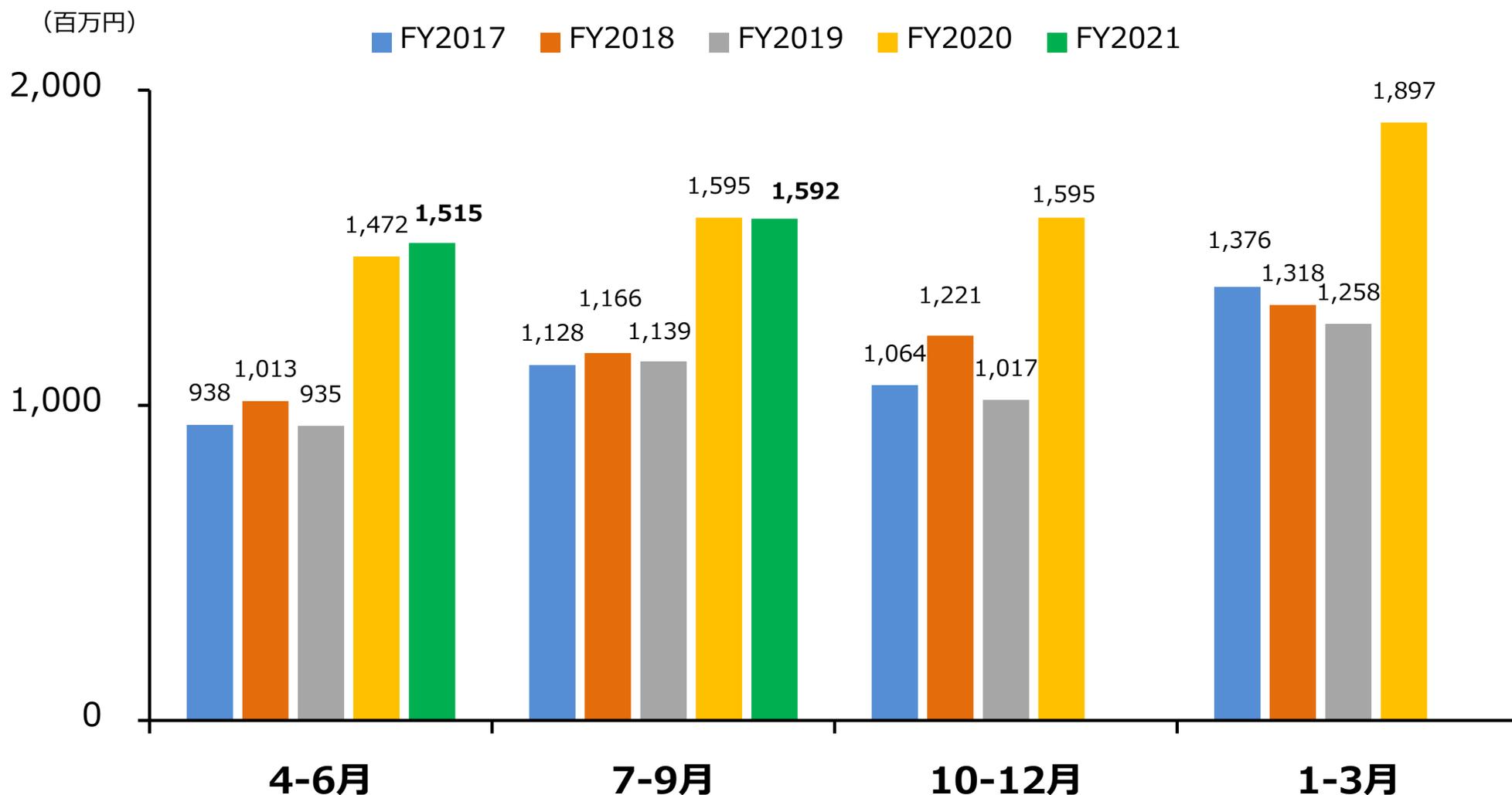
<売上高>



<セグメント利益>



5) 売上高推移 ③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 現預金・棚卸資産の増加、売上債権の減少等により前期末比292百万円の減少
- 負債 流動負債・固定負債ともに減少し、前期末比406百万円の減少
- 純資産 その他の包括利益累計額の増加等により前期末比114百万円の増加

(百万円)

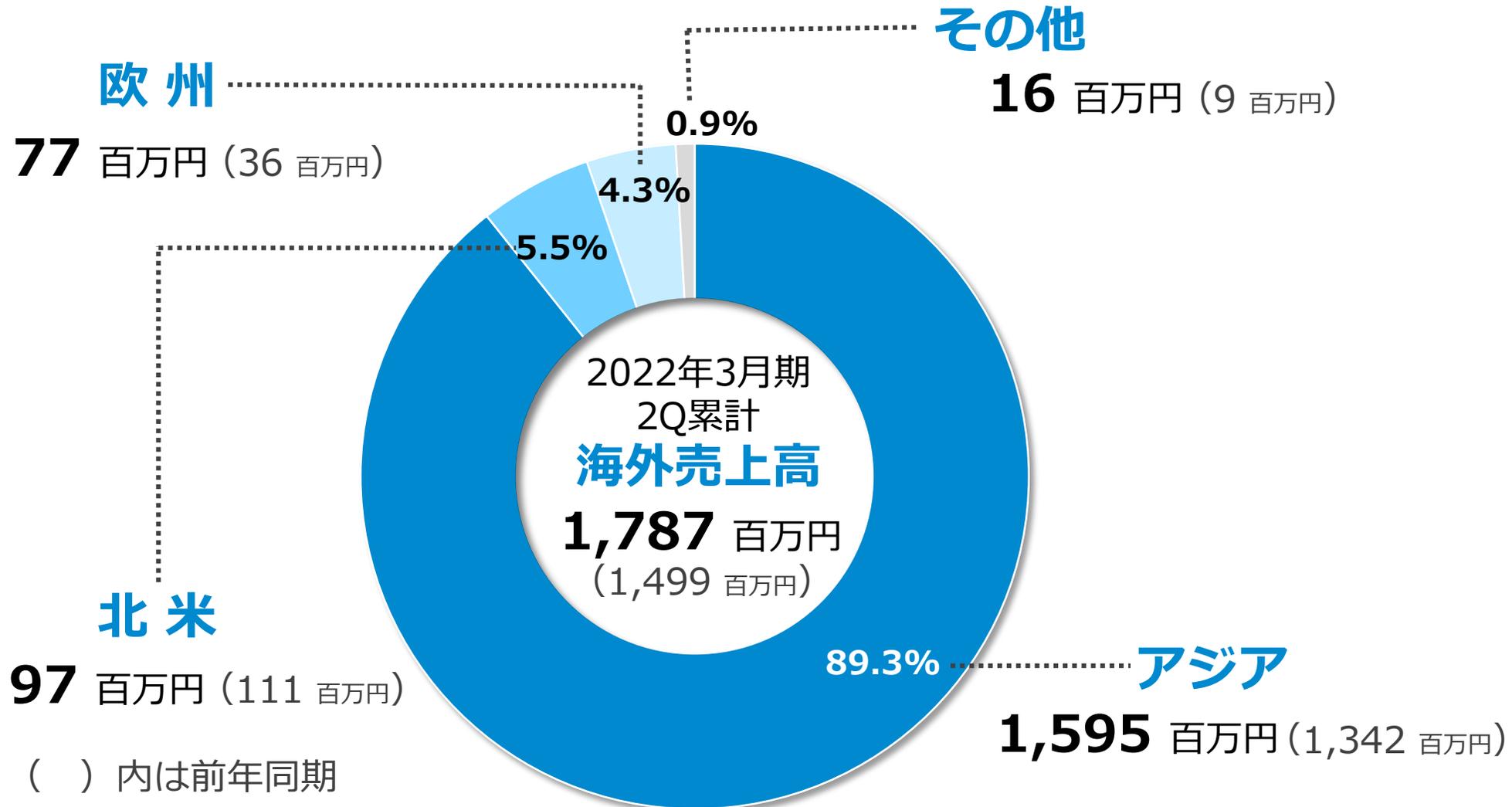
科目	2021年3月末	2021年9月末	増減
流動資産	20,299	20,059	▲ 239
現預金	6,991	7,504	512
売上債権	7,548	6,194	▲ 1,354
棚卸資産	5,526	6,083	556
その他	231	276	45
固定資産	10,099	10,047	▲ 52
有形固定資産	5,578	5,612	34
無形固定資産	398	411	13
投資その他の資産	4,122	4,022	▲ 99
資産合計	30,398	30,106	▲ 292

科目	2021年3月末	2021年9月末	増減
流動負債	7,274	7,165	▲ 109
仕入債務	3,611	3,706	95
短期借入金	1,594	1,595	0
その他	2,069	1,863	▲ 205
固定負債	3,621	3,324	▲ 297
長期借入金	995	807	▲ 188
その他	2,626	2,516	▲ 109
純資産	19,502	19,617	114
株主資本	16,398	16,261	▲ 136
その他の包括利益累計額	240	412	171
非支配株主持分	2,863	2,943	79
負債純資産合計	30,398	30,106	▲ 292

自己資本比率：2021年9月末 55.4%、2021年3月末 54.7%

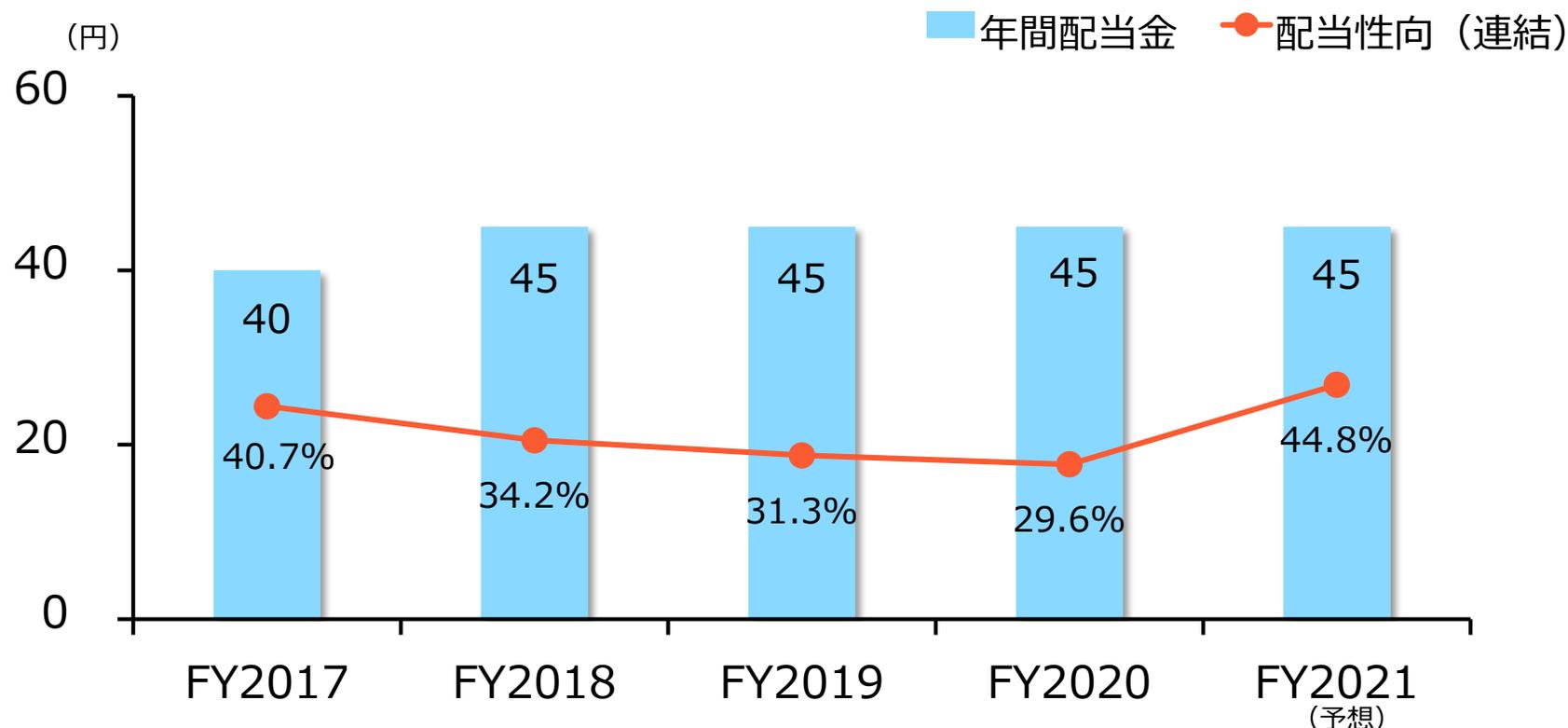
7) 海外売上高（地域別）

- 海外売上高は中国を中心としたアジア地域で増収



2.株主還元

- FY2021の1株当たり年間配当金（予想）は45円としております。
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円実施。
（2017年7月には、自己株式の消却を300,000株実施）
- 安定配当を継続しつつ、内部留保資金を研究開発活動や新技術・新商品開発投資及び新規事業等、将来の企業価値を高めるための投資資金として有効活用することにより、1株当たり利益とROEの向上に努めてまいります。



3. トピックス

株主優待制度（チノー・プレミアム優待倶楽部）を導入

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を一層向上させ、中長期的に保有していただける株主様の増加を目的として株主優待制度の導入を決定しました。また株主様の名簿管理についてDX化を進めることで株主様との対話強化に努めてまいります。

【制度の概要】

- ・ 2022年3月末現在（以降、毎年3月末現在）の3単元（300株）以上保有の株主様が対象となります。初回の優待ポイントは2022年5月の贈呈を予定しております。
- ・ 株主様の保有株式数に応じて優待ポイントが贈呈され、ウェブサイト「チノー・プレミアム優待倶楽部」において、食品、電化製品等4,000種類以上の商品から交換できます。
※制度の詳細は当社HP（<https://www.chino.co.jp/financial/news/>）に記載されている「株主優待制度導入に関するお知らせ」をご覧ください。

当社の新市場区分の選択方針

当社は、2021年9月9日の取締役会において、プライム市場を選択する方針を決議致しました。プライム市場の上場維持基準（「流通株式時価総額」及び「売買代金」）充足に向けた具体的な取組みにつきましては、2021年12月30日までに株式会社東京証券取引所への提出および開示を予定している「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を通じてお知らせする予定です。

4.通期業績予想

通期業績予想（2021年11月10日業績予想修正）

- 先行きの不透明感（世界的な半導体供給不足・原材料費の高騰等）は依然として継続していますが、脱炭素に関わる研究開発やIoT化を目指す操業現場の設備投資が見込まれ、第3四半期以降も需要は堅調に推移することが予想されることに加え、当第2四半期の業績進捗を勘案し、通期業績予想（2021年5月13日公表）を修正

（百万円）

	FY2021 業績予想 (2021年11月10日発表)	FY2021 業績予想 (2021年5月13日発表)	増減	増減比
売上高	22,300	22,300	—	—
営業利益	1,300	1,200	100	8.3%
経常利益	1,400	1,300	100	7.7%
当期純利益 (親会社株主に帰属)	850	800	50	6.3%

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO